

【表面】

※整理番号（寄附条例主管課記入）〈 〉

寄 附 申 込 書

下記のとおり寄附したいので、申し込みます。

平成 年 月 日

御宿町長 様

氏名（団体名）

住所 〒

連絡先

TEL

寄附金 一 金 円也

- ・裏面の「寄附の使途の指定内訳」欄も必ずご記入ください。

氏名、寄附内容について、公表を望めますか？

どちらかに、○をつけてください。

- 1 氏名、寄附内容（金額）の公表を希望する。
- 2 寄附内容のみの公表を希望する。（匿名を希望する。）

寄附者の意見（ご自由にご記入ください）

※お寄せ頂いたメッセージは公表する場合があります。

※ご意見の欄で寄附の具体的な活用先を指定することはできませんので、あらかじめご了承ください。

寄附の使途の指定内訳

・指定先の記入がない場合は、条例により町長が使途の選択を行うことになります。

	事業の種類および概要・主旨	指定先 (○印)	備考 (具体的な内容をご記入ください)
① 幻想の世界 「月の沙漠の旅」 づくり事業	<p>御宿町は、童謡「月の沙漠」の発祥地としても知られ、広い砂浜に建てられたラクダ像は、一日を通じ様々な表情をもち、これまでも多くの人々を夢の世界へと導いてきました。人々の様々な思いがぎっしりと詰まった月の沙漠は豊かな自然環境と共生しながら、変わらない姿で後世に引き継ぐことが求められます。豊かな緑に囲まれた青い海と真っ白な砂浜は、自然が与えてくれた当町の貴重な財産です。</p> <p>こうした自然環境と、文化的財産のコラボレーションによって、ここに住む人、また訪れる人が、その空間の中で、それぞれの夢の旅を創造できるような、環境の保全、町並みの整備を進めて行くことが重要です。裸足で歩ける砂浜やいろいろな生物が生息できる里山の保全、また観光施設の維持管理や花の植栽など、常に努力を重ねているところですが、環境・景観施策は、一時的な取り組みでは意味がありません。多くの方々の理解と協力を得ながら、皆さんとともに、夢のある『月の沙漠の旅』を続けて参ります。</p>		
② 世界に発信 「人類愛の輪」事業 サン・フランシスコ号 遭難救出の史実	<p>今から400年ほど前の1609年に、スペインのガレオン船サン・フランシスコ号がヌエバエスパーニャ（現在のメキシコ合衆国、当時はスペインの植民地）に帰国途中、嵐に巻き込まれ田尻沖（御宿町岩和田地先）で座礁し、当時の岩和田村民が総出で乗組員373人の内317名を救出しました。その翌年徳川家康が船を鑄造し無人たちの偉業は、御宿町民の誇りであり、メキシコ事帰還させたという史実があります。この史実がきっかけとなり日本・スペイン・メキシコの交通発祥記念之碑が網代湾を一望できる丘の上に建てられたものです。こうした人類愛に満ちた先合衆国・アカプルコ市（S53）、テカマチャルコ市（H25）との姉妹都市提携が結ばれ、現在でもホームステイの受け入れ等の交流をしているところです。町では、この素晴らしい歴史的・文化的財産を後世に語り継ぐことはもちろん、単に町の歴史的偉業に止めることなく、日本人の誇りとして、多くの方に伝承しながら、全国、そして世界へと発信していきたいと考えています。多くの方々にこの素晴らしい史実を知っていただき、交流の輪を広げ、人類愛に満ちた史実の伝承に取り組みます。</p>		
③ 夢を育む 人にやさしい まちづくり事業	<p>将来を担う子供たちのための教育環境の充実をはじめ、少子高齢化の進展に伴う生涯学習環境の整備や地域ぐるみの子育て支援など、教育と福祉が一体となった取り組みが強く求められています。町ではこれまで、小中学校校舎の整備をはじめ、放課後児童クラブの充実や各種の高齢者生きがいづくり支援など、幅広く事業を実施してきたところですが、依然として課題は多く、基金を活用しながら、未来を担う子供たちが生き生きと学び、また町民が安心できる、よりきめの細かい教育・福祉の充実を図ります。</p>		
④ 活力があふれ 賑わいを生む まちづくり事業	<p>本町でも第1次産業の後継者不足や、第3次産業においては近隣市町の大店舗等に購買人口が流出するなどの多くの課題について産業全体が開発策を模索しています。地域の特性を生かした産業の活性化や、地域資源の保全、環境整備を行うとともに、生産力の維持、向上、販路の拡大など御宿独自の付加価値をつけた産業振興策の構築や、産業間交流による連携を推進していきたいと考えています。</p>		
⑤ 住民協働による豊かな 暮らしと安全安心な まちづくり事業	<p>開かれ、わかりやすい町政運営、災害に強い安全安心なまちづくり、公共施設の安全で良好な管理運営には、町民の皆さんが行政運営に参加することが必要です。高齢化の進展と人口減少が進むなか、地域住民同士が協力しながら、また、ボランティア等による地域の力を集結し、多くの町民の皆さんの参加により自助、共助の取り組みを行っています。小さな町だからこそできる行政と住民との協働によるまちづくりをさらに進め、独自の魅力ある地域づくりや生活基盤を支える施設の維持管理、利便性を高める地域公共交通運行などを進めることにより、定住化促進や交流人口増加策を構築していきたいと考えています。</p>		

■ 寄附金の受入（受入日）
(基金主管課) ※基金主管課が複数部にまたがる場合は寄附条例主管課

(寄附条例主管課)

町長	副町長	総務課長	企画財政課長	課長	課長補佐・班長	主査	係長	担当

課長	課長補佐・班長	担当